

ルートは推測

遭難地点

滝子山

△1590.3

1336

1246

1150

1095

40歳代男性2人。下山  
中、道に迷い救助要請  
し県警へリが救助した。

至：登山口

961

遭難の詳細等は不明だが、ルートからほんの少し離れた地点での救助要請。時間は12時15分、天気は晴れ。遭難地点の南側は等高線が密になっていて傾斜が急なことが地形図から読み取れる。時間的にも救助要請の時間が早いので、推測だが、おかしいと思いながらも斜面を下っていて、崖となり戻ることも進むこともできなくなったのではないかとと思われる。

戻れなくなるほどの急斜面であれば、当然「あれっ？おかしい」と思いながら進んでいたに違いない。これが「道迷いの心理」である。実に道迷いの行動は不思議である。YAMAPではコース上に注意の記号があるので、ひょっとして「危険なところもある」という気持ちもあり進んでしまったのかもしれない。

地図アプリはとても有効で私は推進派である。もちろん紙地図とコンパスを持ったうえでの話であり、コンパスが使えるという前提である。現在位置は地図アプリを使い確認し、コンパスで進行方向を確認する。最強のコンビといえる。

一部の地図アプリは、「ルート逸脱警告機能」が無料で使用することができる。せっかく無料で使える機能なので遭難しないために使っただけ安全登山を心がけてほしい。